

え も り み さ お
江 森 美 佐 雄 議員



問 I C周辺開発について

答 清水建設はAブロックで令和4年度中の着工をめざし、町は道の駅エリアで商業施設を検討します

町民の強い要望を実現しよう。

問 Aブロックの状況は。

都市建設課長 清水建設(株)の土地取得から約4年5ヶ月が経過、現在、進出事業者は決定していません。オーダーメイド型の建て方からマルチテナント型への変更を予定するなど各事業者との交渉により令和4年度中の着工に向けて計画を進めているとのこと。1日も早い着工に向けて強く要望していきます。

問 商業施設は開設するのか。

産業課長 道の駅の後背地を含めたエリアで、民間の活力の導入、テナント方式などの利活用により日常の買い物ができる機能を設けていきたいと考えています。また、移動

スーパー等の役割は大きな効果が期待できるので商業施設と役割分担、相乗効果を図りつつ進めたいと考えています。

問 区域指定制度の進捗状況は。

都市建設課長 五霞町はほぼ全域が浸水想定区域となっていますが、市街化調整区域における住宅等の建築が可能となるよう、令和3年度は区域指定を受けるための方策等について調査・検討を行い、県関係機関と協議を重ねてきました。令和4年度は県への申出等を行い、区域の指定に向け、手続きを進めていく予定です。

問 民間資金等活用事業として保健センターの敷地や旧職員住宅を利活用すべきではないか。

まちづくり戦略課長 町営住宅建築を目指し、PFIによる多世代居住型住宅の導入可能性調査を準備中です。候補地として既にお知らせした4か所を予定していますが、10年以上未利用のままとっている保健センター敷地内の旧職員住宅もPFIを活用した住宅など有効な施設として検討したいと考えています。

問 I C周辺開発について。

町長 Aブロックへは1日も早く着工、操業が開始されるよう強く要望いたします。商業施設は町民の皆さんから日常の買い物ができる店舗を、ということで要望をいただいています。しっかりと検討していきます。



ごかみらい産業団地